

高めよう、地域の防災力 令和5年度白鷹町総合防災訓練を実施

10月22日、東根小学校周辺において令和5年度白鷹町総合防災訓練が行われました。

訓練は、降り続く大雨と震度5弱の地震発生により、軟弱化した地盤で土砂災害が発生しているとの想定で行われました。

消防団や東根各地区の自主防災会、自衛隊、東根小学校の児童などが参加し、水防訓練や災害救助訓練、初期消火



訓練、火災防ぎよ訓練や、今年から新たに自衛隊車両輸送支援訓練、ペット同行避難訓練などを実施しました。

近年、日本各地で激甚化・頻発化する災害に備え、参加者の皆さんは緊張感を持ち訓練に取り組みました。



自衛官の募集等の広報活動に協力 陸上自衛隊東北方面隊より本町に感謝状が贈呈

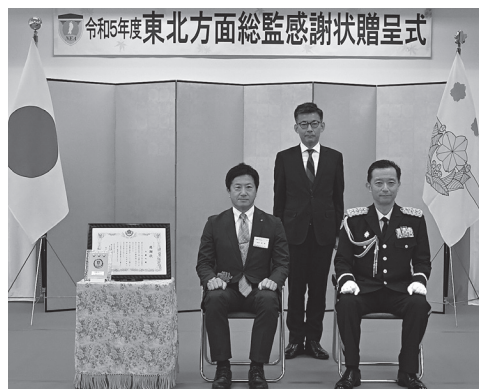
9月24日、陸上自衛隊東北方面隊（梶原直樹東北方面総監）より本町に感謝状が贈呈されました。

町では、これまで広報誌等を活用して自衛官の募集を定期的に



行ってきました。今回の感謝状は、その活動に対して贈られたものです。

自衛隊は、国家を守る役割を果たしており、大規模災害での対応などを行っています。町としても、今後さらに自衛隊と協力体制をとりながら、災害に備えて連携を図っていきます。



前列右より、梶原東北方面総監・田宮副町長 後列、小野山形地方協力本部長

災害時におけるガソリン等燃料の供給に関する協定の締結式



右から松下代表・山口部会長 佐藤町長

災害時におけるガソリン等燃料供給に関する協定を締結

10月25日「災害時におけるガソリン等燃料の供給に関する協定」の締結式が行われました。

近年増加する自然災害の応急対策として、燃料等の供給は必要不可欠であり、行政機関をはじめとする施設や車両などへの燃料等の確保が重要となります。

今回、白鷹町スタンド部会（山口陽一郎部会長）および白鷹町油組合（松下茂代表）の協力をいただき、燃料の供給体制を確保し、災害対応や避難者の救援活動などを円滑に実施することを目的とした協定の締結を行いました。

「芸術の秋を満喫」
「第53回白鷹町芸術祭」を開催



10月27～29日の3日間、白鷹町文化交流センターあゆむを会場に第53回白鷹町芸術祭が開催されました。

音楽部門では、白鷹中学校吹奏楽部や荒砥高校吹奏楽部の素晴らしい演奏、白鷹町少年少女合唱団の美しいハーモニーが会場を包みました。特別公演では白鷹高等専修学校の生徒による、ファッションショーが開催され、観るものを惹きつける演出で会場からは拍手が送られていました。

また、公演部門では町内外から多数の芸術団体が参加。日頃の成果を発揮し、爽快なリズムに乗せて披露した迫力ある演舞や美しい歌声を響かせた歌謡ステージなど、会場は連日盛り上がりを見せました。

ステージでの公演のほかにも、会場には写真や書画、民芸品など数多くの作品が展示されたほか、愛好会による茶席でのおもてなしも行われ、多くの来場者が白鷹らしさあふれる芸術の秋を楽しみました。



見て、食べて、体験して、町の産業が大集結
白鷹町産業フェア2023が開催

11月5日、白鷹町まちづくり複合施設を会場に開催された「白鷹町産業フェア2023」は、町内外から約4100人のご来場をいただき、大盛況の1日となりました。今年も、JA、観光協会、商工会、森林組合、酪農協のブースのほか、地元特産品を使った売店や、体験コーナーも用意され、大人から子どもまで町の産業に触れ合う機会となりました。

また、白鷹獅子の祭典として4つの地区（別表神社）

鮎貝八幡宮、八乙女神社、十王皇大神社、諏訪神社）の獅子舞が披露され、それぞれに特徴があり迫力ある獅子舞に、多くの方が見入っていました。働く車も大集合し、高所作業車乗車体験では、まちづくり複合施設を上から眺めようと多くの家族連れが、列をなしていました。

今年も、盛り上がりを見せた産業フェア、訪れた方々には活力あふれる白鷹を感じていただきました。

